



日本カトリック看護協会会報

No. 7

発行者 井深八重子 (本部) 東京都新宿区下落合 260 聖母病院内

編集者 場崎ひろ子 (編集部) 東京都北多摩郡清瀬町 ペトレヘムの園内 TEL 清瀬〜26

1959. February

SAINTE BERNARDETTE

Priez pour nous. /

霊的講話

高価な贈物 野口神父

クリスマスプレゼント、御歳暮、お年玉等々贈物をする季節とか習慣とか云つたものがあります。贈る人は何が相手の人に喜ばれるだろうかなど、考えてきれいな包にし、心をこめて贈り、ひそかに微笑むのであります。受ける人は贈る人より以上の喜びを感じるのであります。その贈物も有難いが贈る人の心が何より嬉しいからであります。一昨年のクリスマスにお菓子やおもちや等を入れたきれいな小さい袋を、或る病院に持つて行き、これは日曜学校の子供達の為に用意したものですから皆様も子供の心持でお受け下さい、と云つて患者さん達におくばり致しました。大人の患者さん達は童心にかえつた様な気持になつて非常に喜びその中の幾人かは公教要理を学ぶ様になつて洗礼を受けました。

神様に贈物を差上げるのにも色々あります。人々に上げる贈物等も神を愛する心で行えば神への贈物に成りますが特別に定めた祈や犠牲や愛徳の業などの信心業も立派な贈物であります。こうした贈物がどれほど神様の御心をお喜ばせるかは聖書の至る処に述べられています。そして贈る人の身の上についても「与えるは受くるより幸なり」と教えてあります。人に贈物をする時には時々義理と云つたような不純な愛情が心の中に陰れていますが神様に差上げる時には純粹な気持になれるけれども義理は「是非しなければ済まない」と云う気持を起させる強い力を持っていますから誰でも忘れずに贈るのであります。神様にする時は義理を感じませんから怠つてしまうのです。神様に贈るものの中には、高価な贈物があります。それはキリスト様御自身が一生探し求めておられ、否、世の終りまで求めておられるものです。三位御一体の第二位の御方が、人性をとり、人類の中を巡り巡つて探され、十字架にかゝつて「我れ渴く」と云い乍ら生命をささげその尊い一滴一滴の血の価をもつて贖い求めておられるものです。又教会を設立して、世の末まで探し求めさせ給うものです。一体この不思議なものは何んでしょうか。それは人々の靈魂です。これこそ主キリスト様の望みに望んでおられる高価な宝物です。私共は、キリスト様のこの御求めに応えねばなりません。JCNCの皆さんこの贈物を忘れてはなりません。進軍ラツパは鳴っています。「改心する一個の罪人の為には、神の使等の前に喜びあるべし。」

(ルカ、十五ノ十)。今年は是非 一人の信者をつくりましょう。そうすれば、改心者にも最も高価な贈物をしたことになるのです。天主様に永遠の生命を与えたことになるのです。



神の母、愛でさせ給う里乙女は

ヌベルの園の三色すみれ



現代に於けるカトリック医師と看護婦の協力

カトリック医師会会長・医学博士 陰 山 栄

戦後、国民道徳が低下して、殺人窃盗、暴力団、グレム隊など其数が増加していることが報ぜられている。そして之等の現象は仲々消退するどころか益々旺盛を極める。売春の問題等も法律を似つて取締ると云う事になった。之に対して学校教育の欠陥が其原因であるから学校教育の中に道徳の時間を入れて子供の時から教育するべきであるとの意見が出て文部省でも道徳教育協議会で問題を研究せしめ、道徳教育審議会を作つて方針を定める。さて、何故、此の様な国家の状況が発生したか。ルーメル神父が、カトリックの医師会にてされた講演を参考にして述べて見ると、明治維新（明治元年1868）外国思想を抑圧して来た徳川幕府が倒れて、諸事、新方針に基き広く知識を世界に求めることとなり外国思想がとり入れられ、古い風習を捨てて風俗迄も外国流となし、所謂鹿鳴館時代を現出した。これが終戦後の日本の状況に似て居る。即ち我が国の根本思想を禁止して無差別に外国の思想を輸入した。明治28年（1890）この思想を改める為に国民思想の善悪の規準を示す教育勅語が發布されて、180度の転換がなされた。当時、歴史の教える所謂日本の伝統的精神が認められる様になった。即ち皇室中心主義にて新教育の精神、道徳を形成する源が始まった。大正6年（1917）第一次世界大戦に大勝を博し経済的にも恵まれ凡てなすことが図に當つて来た時に日本の教育方針は主として国内情勢に支配され戦後10年の後昭和元年（1926）、体操は軍事教練下配属将校による教育が施され、尚武の気性がないと国が栄えないと云われた。昭和12年（1937）新たに日本国体の本義が出来て大学生は必修のものとなつた。

「日本は世界中の偉大なる民族であり日本精神を全世界に普及せしめることは日本人の使命」とされ、15年前迄この考えが支持されて来た。ところが、昭和20年（1945）敗戦による終戦となりこの考え方は根本的に失われ日本人は心の拠所がなくなり教育の方針が空虚となり所謂空白時代が現出した。昭和21年（1946）米国の教育指導者が来て方針を定めた。米国の司令官は文部省を指導して民主思想による米国立に、教育の六・三制を作つた。その後、6年を経た昭和26年（1951）にまた異つた将校が来て其の成果を調査した。其時の報告書によると、日本の教育が批判されて居る。即ち米軍司令官の指導した教育方針中には、道徳教育がとり入れてない。但其報告書の最後には社会科の教科を通じて道徳教育を折り込む修身科の如き書籍を作つてつめこむ主義は民主主義にならない。むしろ家庭を通じ、又教会を通じて行ふべきであるという。茲に述べる新教育制度は米軍司令官の指導の下に示されたものであるが、此の取り入れられた民主主義と呼ばれる新教育は如何なる哲学に基いて居るか、日本の教育者の態度はどうであつたかという問題が生じて来る。

1. 民主主義の問題は米国の教育原著ジャンデヴィウの説に基づいておる。この人は19世紀の人、1850年代、大学で論文を書いてシカゴで自分の教育理念の実験をなし（1895）第一次大戦の頃「教育と民主主義」と云う論文を発表しえが大体今日の米国の教育全体を支配して居る。この思想は進歩主義哲学が云う功利主義、実用主義に属するので「人間の思想の真偽は如何にして定まるのか？ 其の考えを実行に移し、実用に叫ぶか、効

果があるか、物質的進歩に貢献するならば真理がある。これによつて人間の価値を定める」と云うのである。此の思想を道徳にあてはまると人間価値や善悪の標準は効果できる、よき行いといえども人の進歩に役立たぬもの、又は邪魔なるものは悪の思想であると定める。此思想は米国の司令官が持参したのではあるが、日本でも第一次大戦以後、ジュウイの弟子達によつて漸次日本国内にも信仰者が増加して居た、第二次大戦の後米国の新教育を取り入れることになつた。即ち多くの教育者は歓迎して居た。即ち人の思想の善悪を効果できる、物を比較して効果によつて判断する相対主義は国内に拡がつて行つた。それであるから米国の持参した新しい教育が自然にはまり込んだ即ち教育指導者らは大体賛成の態度であつた。然るに地方政治家の中には不賛成のものもあつた。茲に衝突が来る。効果主義は物質主義であり、精神を没却して居り、左翼思想に傾く、結果がよければよいと云うことは共產主義に傾くものでコムニズムの哲学に近い。米国の若き学生がジュウイのプラグマチズムの講義を聞いたときジュウイを無宗教主義者となし、これは危険なものとしてジュウイの思想に反対した者が沢山出て来た。ジュウイの思想はカトリズムと相容れないものである、ジュウイは無神論者ではなく、信仰を持つて居ると云うけれども其の考え方の中には絶対的の神もなく絶対的真善美がない、即ち規準となるべきものがない、相対的のものばかり甲は乙よりよいと云うのである。此思想が普及してはよくないと賛成しないものが出来た。不賛成者は即ち政治家である。教育者が気がつかぬのに政治家が教育

改訂 看護必携 第2版

編集 聖ルカ病院 日野原重明

主要内容 基礎看護法・薬物学・細菌の分類・内科疾患の理解と看護・食餌療法・麻酔の知識と各手術前後の看護・育児、小児の疾患・産婦人科の理解と看護・性病・皮膚の病気・耳鼻咽喉科・救急処置・臨床検査の手引

新書判
560頁 ¥800

看護必携を推奨する

聖ルカ病院長 橋本寛敏

忙しい看護の業務に従事する際に看護業務に直接間接関係ある知識についての疑念が生じて、一寸迷うことが度々ある。手近かに辞書のように、その疑問を解いて呉れる本があれば良いと思う。このような誰にもある要求を満たすために、看護必携がつくられた。これは図書室に備える本ではない。看護ステーションに置いて辞書のように用いる本である。何処にでも携えて行き、又仕事場にはこれを常備することによつて、看護婦は賢い人として正しい仕事を能率的に実行することができる。

東京・文京・本郷6-20 振替東京56693 医学書院 刊

を正道に導かねばならぬと云うことになったが、之はデュウイの思想の間違いから来たことである。この事が昨今になって明瞭となった。教育者は自分の仕事に能率はよく成果が上つて居ると思つて居て政治家と相反する立場にある。次に来る問題が政治家の云う道徳の科目をかえることは以前の修身科の復活、封建主義、軍国主義の再出発になるのではないかと、又一部のものは恐れて反対している。即ち一方に教育を批判する政治家があり教育家は今のまゝに所謂民主主義で行こうとする。我等は何処に行くべきか目標がない。之が教育の危機と云うのである。この危機を救うものがカトリシズムである。キリスト教的民主主義によらば解決は出来ない。即ち以上の事実から結論を求むる時は、政治家は道徳のあり方を決定する資格も権利もない。道徳は政治にて定まるものではない。これは人間の良心の問題である。良心は神によつて人間に与えられたものであり良心の規準をあたえ給うた神の定められる法則によるほかはない。即ち神の定め給うた自然法、神法に従わねばならぬことは明瞭である。然るに文部省は民主的教育をしようと思つて居る。即ち教育課程審議会を作つて道徳教育特設を定めた後更に小委員会議で手引書を作つた。道徳教育を特別の教科としては取りあつかわず指導要項が出来てあるのみ、指導目標、教育基本法、学校教育法に定められた教育の根本精神即ち、人間尊重の精神を一貫して家庭、学校、近隣、共同体の倫理として実践する。

指導内容

小学校

1. 日常生活の基本的行動様式を理解し、身につけさせる。
2. 道徳的心情を高め正邪善悪を判断する能力を養う。
3. 個性の伸長を助け創造的な生活、態度を確立するよう導く。

4. 国家、社会の成員としての道徳的態度と実践意欲を高める。

中学校

1. 日常生活の基本的行動様式
2. 道徳的心情を高め正邪善悪を判断する能力を養う。
3. 民主的国家社会の成員として必要な道徳的態度を養う。

批判

指導目標は人間尊重は悪くはないが、何故この目標に向つて進むべきか、そうする方が最大多数層に効果的であると言っただけでは理由が不明瞭である。道徳的心情を高め、正邪善悪を判断する能力を養うのはよいが、何が基準か此等信念がなくば判断する能力が出て来ない。道徳の根底には、真善美を決定する基準がある。その真の善、誠の美は神によつて見ることが出来る。即ち宗教教育、特にカトリシズムにより何が絶対、真善美であるかが明瞭に定まる。即ち人の心の中にこの思想がなくば道徳の正邪善悪を決定することは不可能と思わねばならない。

2. カトリック医師と看護婦との協力前編の説明によつて凡て物の真偽、善悪、正邪を判断するには之を比較する基準が必要で基準こそは神により定められた自然法によらねばならないことがわかつた。従つて医術及看護術は皆病者を救済する術であつてこの術の中にさえ正道と邪道とが存する。この正邪、善悪を決定するが善悪には、効果主義、便利主義、物質主義によつては決定することが出来ないことは前に説明した如くである。即ちカトリックの信仰に基いて物の正邪、善悪を決定することが絶対に不可欠の事となつて来る。従つて我々カトリック医師は左の如き宣言文を作つて信条として居る。

「カトリック医師は人間が肉体と不滅の靈魂とより成るものであることを確信し、この立場から常に患者を取り扱うこ

とを誓う。我々は人命をあずかる医師の責任の重大性を自覚し、キリスト教的愛に則つて国民一般の肉体的並に精神的健康の維持と増進に奉仕すると同時に唯物論的或は功利論的見地から基本人権を侵害或は生命に対して自然法に反する非倫理的干渉を行なうとする凡ゆる試みに反対する。我々は進んで正しい医術は必ず正しい倫理に一到すべき事を信じて医学の研究に從事し、特に自然法に反する医学の隘路を開拓すべく努力する」この医師の宣言文は看護婦の心の持ち方に対しても同様に適應するものと云うことが出来、医師、看護婦共にこの信条に反せぬ様にせねばならない。

協会歌詞の募集

J.C.N.A.会員の皆様の中から生れた「明るく美しい」協会の精神と、カトリックナースを讃えた歌詞を募集いたします。

大会の時など、また支部の集りに、みんなで楽しく歌えるようにふるつて御投稿下さい。

規定 3 節迄 (応募は会員に限る)

メ切 昭和34年3月末日

入選 入選者に賞品「トランジスタラジオ」を贈呈

送先 編集部 場崎宛

質疑応答欄新設

信仰、道徳面に、看護技術及制度、その他教育、政治、経済問題など、日頃私共の生活の中に入つて来る疑問について、此の欄にどしどしお問合せ下さい。それぞれの権威者がお答えします。締切は特に規定しません。

J.C.N.A. 編集部
質疑応答係

写真解説 看護技術 医学書院 編

本書は看護学院に専任の教員として教鞭をとる中堅の先生方が自ら学び、研究し工夫された看護の技術に関する解説を、眼で視ることによつて覚える方法をとつて編さんされたもので、細かくゆきとどいた基本的看護技術の良い書で、此の種の出版物としては最も新しく優秀なものと思います。学生も又働く看護婦の方々もこの技術を写真を通して眼で視ることによりおぼえ、更に次には自分達の手によつてやることによつて確実に自分のものにして下さることを希望します。(本書厚生省看護参事官 金子光序文より)

A5判 400頁 写真701 950 医学書院

写真で見る 各科手術別 手術器械の準備

国立東京第一病院中央手術室 編

外科、整形外科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻科における様々な手術に際し、看護婦の準備すべき手術器械のセットを鮮明な写真によつて図示。手術場の看護婦にとつて最も必要なそして難しい手術器械の準備を経験の浅い人にも、器械の名前も覚えていない学生にも出来るようにした生きた教科書。

B5判 130頁 写真106 改訂第2版 700 医学書院

支部だより

四 国 支 部

第5回例会は、サンタ・マリア神父様ほか10名の会員によつて開かれました。今迄は、聖書研究に1時間余り、そのあとは話会程度で閉会致しておりましたが、今回は、過日神父様が、第2回協議会に出席されて、「各支部の活動状況が不活潑である事、これは折角の聖寵のシンボルであるバツチを胸につけて仕事をしていても、意義深い、J CNAに対するこういう無関心さではないか」とのお話で、私共も今後この会の在り方をもつと、社会化したものにもつて行く様にとの意見が出て、早速そのプログラムを作る事に話が進みました、今迄1時間だけの集りを30分延し、はじめに聖書研究30分、そのあと、カトリックの医師による、カトリック、ナースのための講演を何う事に致し、残る時間を、レコードコンサートに当てる事に会員一同の賛成を得ました。

なお、J CNAの歌詞募集についての要望と、次期大会の開催地についての討議があつて、会を閉じました。

どうぞ皆様も当支部を育てる上に、より一層の御指導とおいのりを心からお願ひ致します。

京都、舞鶴地区グループ便り

第2回 黙想会に参加して

冬の足音を身近に感じながら何かと気ぜわしい日常生活の寸暇を割いて、待降節第2の主日に、指導のホーン神父様に依る、10名余の参加者のさゝやかな黙想会が開かれました。

私共は、1日の或は1ヶ月の報酬によ

つて生活を稼ぐ世間の人達と異り「世界開闢以来、汝等の為に備えられたる国」を得るために、永遠の報酬をめざして、すべてを天主様への愛と御栄えのために、隣人愛に生きるべき「信仰」について再認識させられました。ともすれば、世間にあつて、靈魂の方は忘れ勝ちになり、僅かの祈りによる貯えも世間との接触到、すりへりもろく傾いて行くわが靈魂に「祈り且つ働け」のモットーに明日への力と勇氣を得て散会しました。

恙がなく、今日の黙想、終えにけり
ル・ドの聖母像 微笑みて見ゆ

(京都支部 与謝の海療養所
大江真砂子)



本部役員会報告

本部仮事務所、聖母病院に於て12月14日開催、出席者、松村神父様(J CNA顧問)井深会長、メルエチツト、安田よき両副会長、役員メルリドヴィナ、シスターベネディクタ、堀田雅子、シスタージェラル、平田恵子、編集部場崎ひろ子

協議事項

- 1) C.I.C.I.A.M.S. 加入に伴う会費負担について
年間 20\$(約7200円) 基本負担金
他に会員25名増す毎に1\$加算
- 2) 会報の件
編集係に構成を一任、原文のリヴァイトも適当に行うことが出来る。
- 3) 本部活動の動向について
イ 編集部が独立したので会報の仕事がなくなった。
ロ 本部は全国各グループの指導方針を指示する必要がある。
現在のグループ活動は

主として { 聖書研究
医学的講話
レクリエーション

が行われているが会の特殊性が乏しく会員の興味が浅いので出席率が悪い。

研究に主体をおくと程度差が大きく、一般的に興味を持ちにくい(年齢・学歴・業務環境)

- ハ 会員の加入、会合への参加は友達として呼びかける様にする。
- ニ 例会は特殊性がある様、又入会することによつて明きらかにプラスになる様な形態を考える必要がある。

- 4) 各支部の役員名簿作製
看護婦は異動が激しいと考えられる。
- 5) 各支部に役員任命書を出すようにする。
- 6) 会計監査
来年度より松村神父様に依頼する。
- 7) 来年度研修会開催地に関する件
大阪、四国支部より立候補の通知並に照会があつた。

次回例会討議事項

- 1) 本部の在り方について
- 2) 来年度研修会プログラム

医学看護学用語辞典 日・独・英

大塚病院 酒井哲哉

本書は看護婦学生諸君の、各科の学習の副読本として、又各科に勤務する看護婦諸姉がすぐに役立つようにABC順による辞書の形式をとらず、その使用目的に従つて記載した。

新書判・330頁・1958・¥500・東京文京本郷 医学書院

▶本書に於いては、用語の発音を示す方法として、初学者の便利の為に、用語にふりがなをつけた。外国語の発音をかなで表現することは、元来が無理であり、正確な事は期し得ないが、学習者は、之をもととして正しくは先輩、医師の御教示を仰ぐようにお願いしたい。

▶ドイツ語の変母音(äöü)は表現する方法がないのでやむを得ずエ、エーと記す。

▶本文に於いては日本語、英語、ドイツ語の順に記し、英語の次に;を打ちドイツ語との別を示した。